

スーパーマーケット販売統計調査

2014年1月実績 速報版(パネル306)

2013年12月実績 確報版(パネル306)

- 速報版(パネル306)について ※2013年4月実績よりパネル企業変更
毎月「同一企業306社(パネル)」を対象として集計します。
- 確報版(パネル306)について ※2013年4月実績より集計定義を変更
前月に集計した速報版(パネル306)について、より精度の高い集計を行い、
改めて確報版として公表します。

【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
 - エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 集計企業数、総店舗数、総売場面積
 - 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高
- ※前年同月比(全店):前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較
 ※前年同月比(既存店):前年同月と当月共に営業の店舗における比較

スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアペーカーリー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
	一般食品		調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類	
	非食品		日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具	
その他		テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)		

スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2014年2月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2014年2月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年1月実績 速報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	77,538,543	100.0%	103.0%	100.1%
食品合計	67,216,822	86.7%	103.6%	100.4%
生鮮3部門合計	26,226,086	33.8%	105.6%	102.3%
青果	10,521,610	13.6%	105.1%	101.8%
水産	7,337,206	9.5%	103.1%	99.9%
畜産	8,367,270	10.8%	108.4%	105.0%
惣菜	7,051,711	9.1%	104.9%	101.2%
日配	14,407,336	18.6%	103.3%	100.1%
一般食品	19,531,688	25.2%	100.7%	97.8%
非食品	6,943,561	9.0%	99.6%	98.5%
その他	3,378,161	4.4%	99.3%	98.9%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,547,273	50	101.8%	99.5%
首都圏エリア	28,952,726	89	105.5%	100.5%
北信越エリア	4,863,547	28	103.6%	100.2%
東海エリア	4,242,671	33	98.8%	98.4%
関西エリア	17,244,893	38	101.3%	99.3%
中国・四国エリア	5,633,443	39	102.0%	100.6%
九州・沖縄エリア	4,053,991	29	102.9%	102.6%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	924,945	65	96.9%	98.3%
4~10店舗	4,138,287	88	100.6%	101.1%
11~25店舗	10,038,000	70	100.3%	99.5%
26~50店舗	14,295,781	44	102.1%	100.1%
51店舗以上	48,141,529	39	104.1%	100.1%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	74,348,120	
総店舗数 (店舗)	7,298	店舗平均月商 (万円)	10,625	
総売場面積 (㎡)	11,619,004	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年2月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年12月実績 確報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	94,184,122	100.0%	103.2%	100.5%
食品合計	81,452,282	86.5%	103.9%	101.0%
生鮮3部門合計	31,303,926	33.2%	106.3%	103.3%
青果	11,994,981	12.7%	108.8%	105.6%
水産	9,354,898	9.9%	103.2%	100.4%
畜産	9,954,047	10.6%	106.4%	103.4%
惣菜	8,455,246	9.0%	105.4%	101.8%
日配	17,038,997	18.1%	103.7%	100.8%
一般食品	24,654,113	26.2%	100.8%	98.0%
非食品	8,511,030	9.0%	98.3%	97.1%
その他	4,220,810	4.5%	99.1%	98.5%

エリア別集計

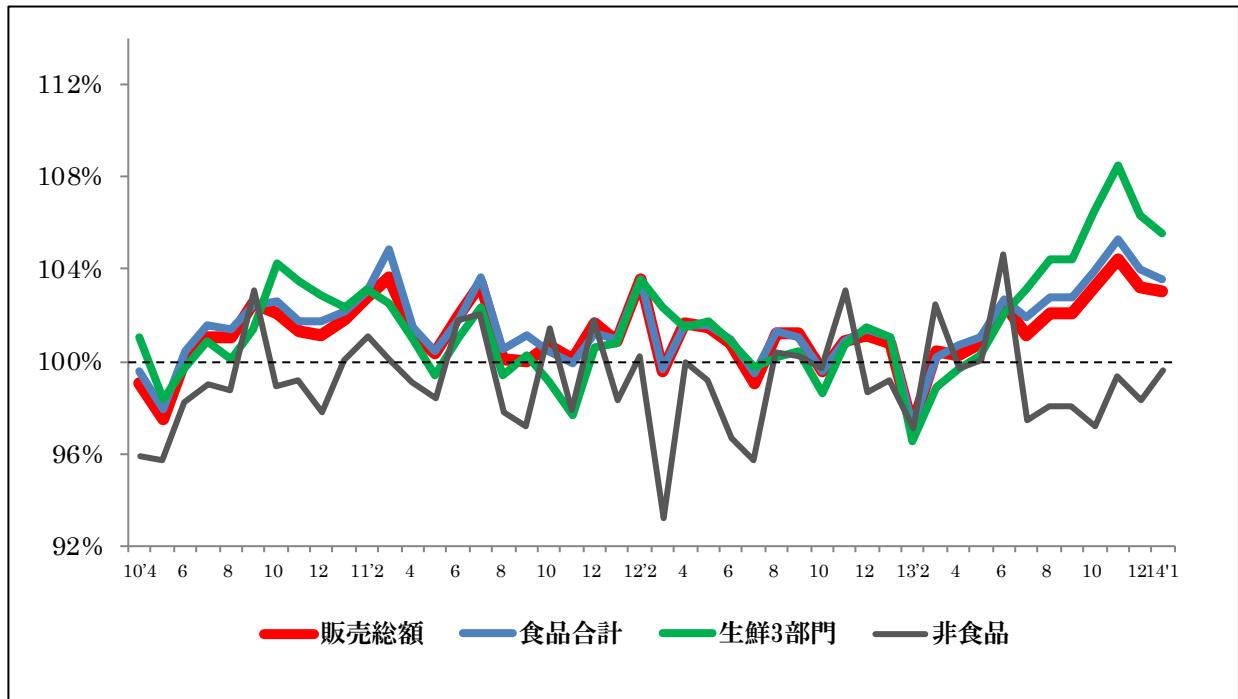
エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	15,980,706	50	104.1%	101.8%
首都圏エリア	35,699,560	89	104.4%	100.6%
北信越エリア	6,424,442	28	102.9%	100.3%
東海エリア	4,661,402	33	100.1%	99.5%
関西エリア	18,963,378	38	101.5%	99.1%
中国・四国エリア	7,198,795	39	102.3%	100.7%
九州・沖縄エリア	5,255,839	29	102.9%	101.9%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	1,213,588	65	97.5%	98.7%
4~10店舗	5,212,022	88	100.3%	100.9%
11~25店舗	12,590,099	70	100.6%	99.9%
26~50店舗	19,068,203	44	102.3%	100.3%
51店舗以上	56,100,210	39	104.4%	100.7%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	90,435,847	
総店舗数 (店舗)	7,302	店舗平均月商 (万円)	12,898	
総売場面積 (㎡)	11,636,410	売場1㎡あたり売上高 (万円)	8.1	

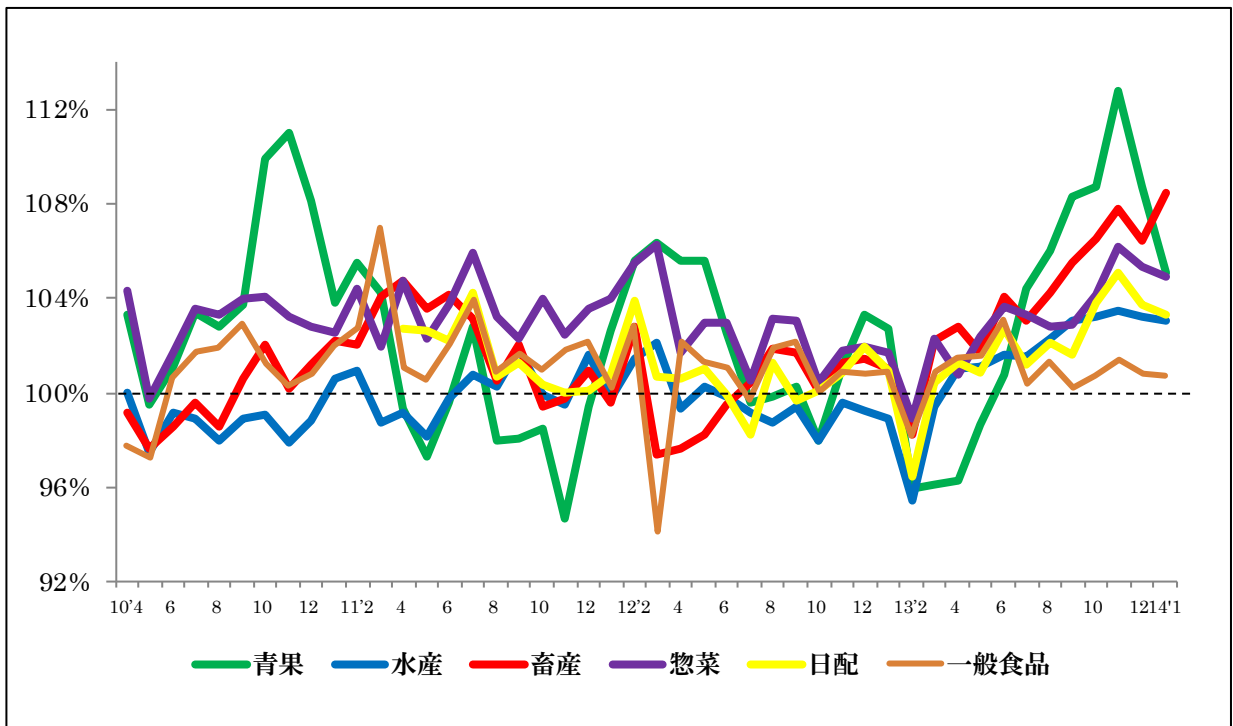
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年1月(全店ベース対前年同月比)
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2013年12月までは確報版による前年同月比、2014年1月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年1月(全店ベース対前年同月比)
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2013年12月までは確報版による前年同月比、2014年1月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

エリア別 2014年1月気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

①平均気温

2014年1月(平年との比較)

全国的に上旬は平年並み、中旬はやや低く、下旬はやや高くなった

前年同月(2013年1月)と比較

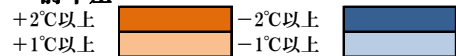
全国的に上旬は高く、中旬は前年並み、下旬はやや高くなった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2014年1月			2013年1月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	-0.1	-2.5	1.2	-4.0	-2.2	1.3	3.9	-0.3	-0.1
東北地方	-0.3	-1.5	1.0	-2.4	-1.1	0.2	2.1	-0.4	0.8
関東甲信地方	0.0	-1.7	2.0	-1.1	-1.0	0.2	1.1	-0.7	1.8
北陸地方	-0.3	-1.8	1.6	-2.1	-0.6	0.1	1.8	-1.2	1.5
東海地方	0.1	-1.4	1.5	-1.4	-0.7	0.1	1.5	-0.7	1.4
近畿地方	-0.1	-1.4	1.6	-1.6	-0.7	0.3	1.5	-0.7	1.3
中国地方	0.4	-1.3	1.8	-1.9	-0.6	0.1	2.3	-0.7	1.7
四国地方	0.5	-1.1	1.9	-1.9	-1.1	0.2	2.4	0.0	1.7
九州北部	0.6	-1.1	2.3	-2.3	-0.8	0.8	2.9	-0.3	1.5
九州南部・奄美地方	0.4	-1.3	1.8	-1.9	-0.6	0.5	2.3	-0.7	1.3

平年差



前年差



②日照時間

2014年1月(平年との比較)

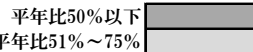
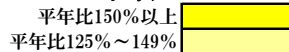
下旬にかけて西日本でやや長かったほかは、ほぼ平年並みであった

前年同月(2013年1月)と比較

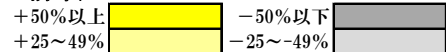
月を通して、ほぼ前年と変わらない日照時間であった

	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2014年1月			2013年1月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	94	127	76	115	101	111	-21	26	-35
東北地方	97	104	106	100	91	138	-3	13	-32
関東甲信地方	105	124	113	118	120	110	-13	4	3
北陸地方	125	95	163	63	109	146	62	-14	17
東海地方	110	122	124	125	118	112	-15	4	12
近畿地方	111	115	129	134	96	111	-23	19	18
中国地方	137	85	154	118	95	103	19	-10	51
四国地方	123	130	137	124	115	116	-1	15	21
九州北部	125	144	149	112	142	112	13	2	37
九州南部・奄美地方	132	119	173	86	136	117	46	-17	56

平年差



前年差



③降水量

2014年1月(平年との比較)

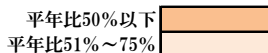
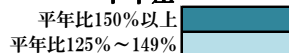
上旬は東海・近畿地方で多く、中旬は全国的に少なく、下旬も北海道を除き少ない地域が多かった

前年同月(2013年1月)と比較

北海道地方を除き、上旬は多く、中旬は少なく、下旬は前年と変わらない降水量であった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2014年1月			2013年1月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	105	95	140	91	69	85	14	26	55
東北地方	106	50	73	52	146	101	54	-96	-28
関東甲信地方	137	6	45	0	245	54	137	-239	-9
北陸地方	84	73	65	100	78	98	-16	-5	-33
東海地方	156	5	92	1	193	84	155	-188	8
近畿地方	189	38	87	13	154	86	176	-116	1
中国地方	123	89	83	24	135	87	99	-46	-4
四国地方	143	15	72	2	214	56	141	-199	16
九州北部	137	19	87	8	119	79	129	-100	8
九州南部・奄美地方	56	9	76	22	189	45	34	-180	31

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用
平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2014年2月調査結果(1月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2014年2月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断 DI（現状判断）はプラス水準を維持も、先行き判断に下降傾向

1月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は50.3と前月に比べてやや下降（-0.9）したものの、依然として判断の分かれ目となる50を上回る結果となった。

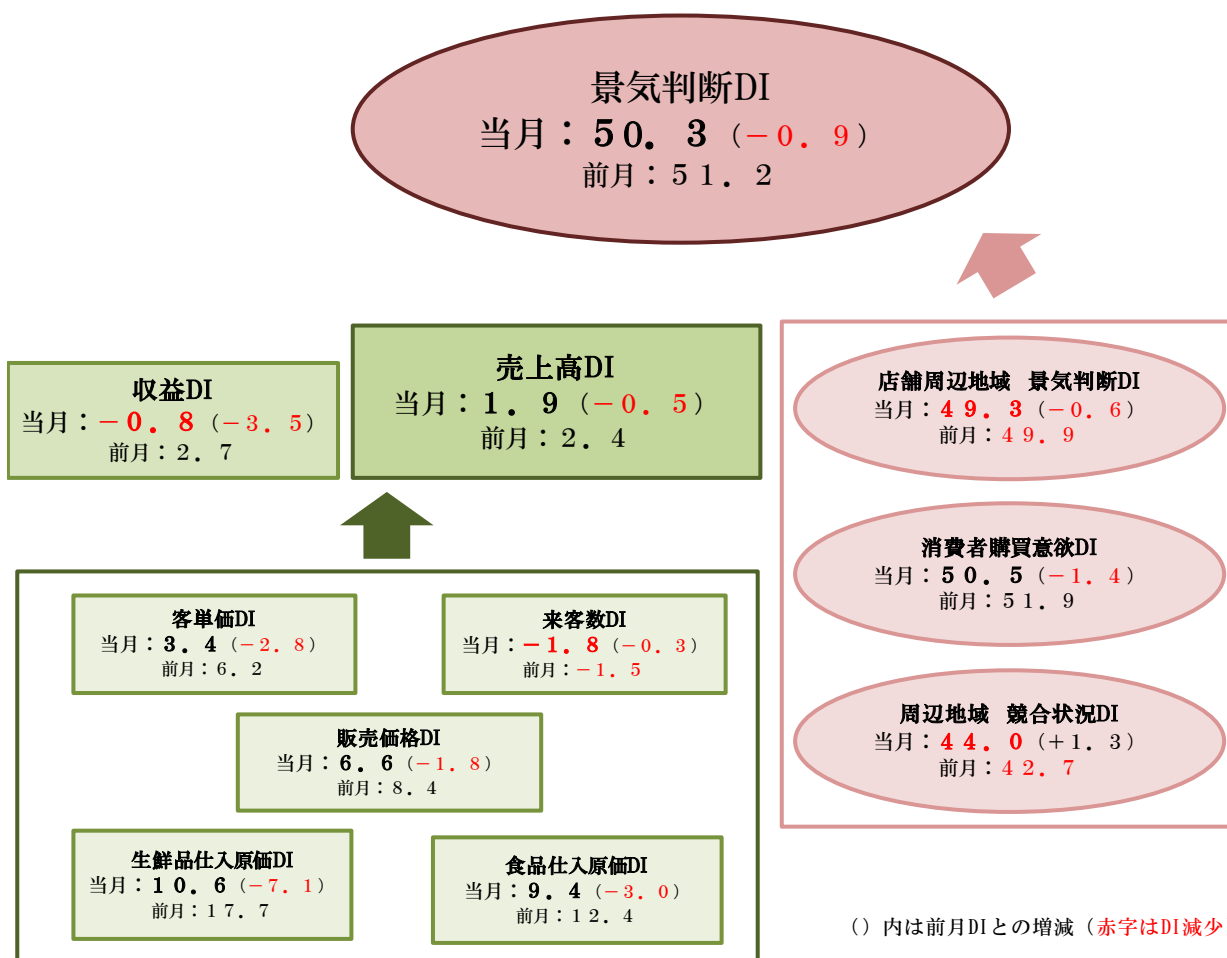
経営動向調査によると、売上高 DI は前月とほぼ同水準の1.9と引き続きプラスを維持している。収益 DI は下降し（-3.5）-0.8となったものの高い水準を維持している。

仕入原価 DI は生鮮が大きく下降し（-7.1）10.6、食品もやや下降し（-3.0）9.4とこれまでの急激な上昇は一服し、落ち着いた兆しを見せている。このように仕入各 DI は下降しているが、販売価格 DI は（-1.8）6.6、客単価が（-2.8）3.4と大きな下降とはなっておらず、高い水準を維持していることが、売上高 DI のプラスに寄与している。来客数 DI には大きな変化はなく-1.8となった。

景況感調査では、現状、先行き判断ともにやや下降傾向がみられている。特に先行き判断については下降幅が大きく、現状判断とのかい離が前月以上に広がる結果となった。4月からの消費税率引き上げを控え、慎重な見通しが目立つようになってきたといえる。

2014年1月

スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2014年1月キーワード TOP 3

1. 青果相場高
2. 安定した気候条件
3. 冷凍食品問題

スーパーマーケット経営動向調査

当月：1月速報版集計 234社
前月：12月確報版集計 263社

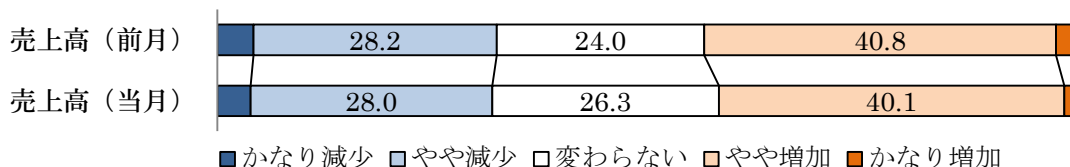
I. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

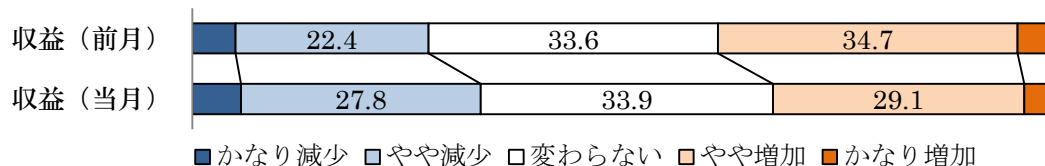
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	4.2	28.2	24.0	40.8	2.7	2.4
売上高（当月）	3.9	28.0	26.3	40.1	1.7	1.9



②収益 DI

「やや増加」が減少し、「やや減少」が増加（DIは下降）

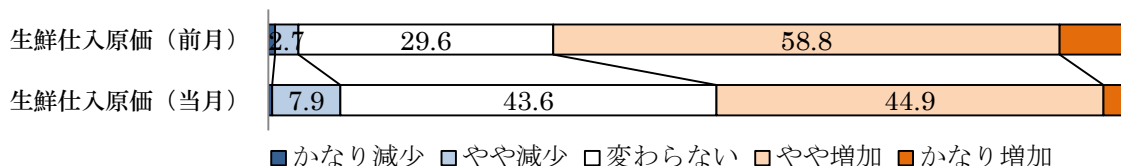
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	5.0	22.4	33.6	34.7	4.2	2.7
収益（当月）	5.7	27.8	33.9	29.1	3.5	-0.8



③生鮮仕入原価 DI

「やや増加」が減少し、「変わらない」が増加（DIは下降）

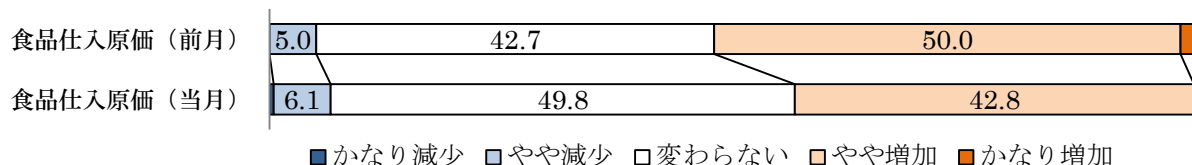
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	0.8	2.7	29.6	58.8	8.2	17.7
生鮮仕入原価（当月）	0.4	7.9	43.6	44.9	3.1	10.6



④食品仕入原価 DI

「やや増加」が減少し、「変わらない」が増加（DIは小幅に下降）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.0	5.0	42.7	50.0	2.3	12.4
食品仕入原価（当月）	0.4	6.1	49.8	42.8	0.9	9.4



⑤販売価格 DI

「やや増加」が減少し、「変わらない」が増加（DIは小幅に下降）

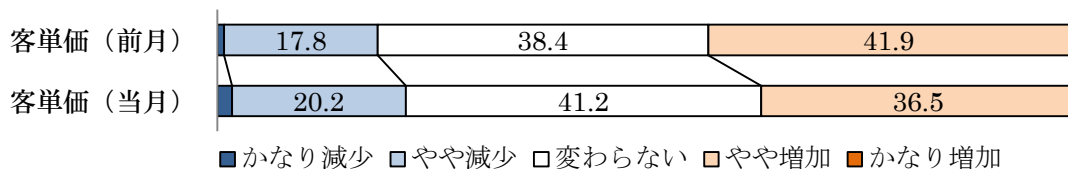
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.8	8.7	47.1	43.0	0.4	8.4
販売価格（当月）	0.9	8.6	54.3	35.8	0.4	6.6



⑥客単価 DI

「やや増加」が減少（DIは小幅に下降）

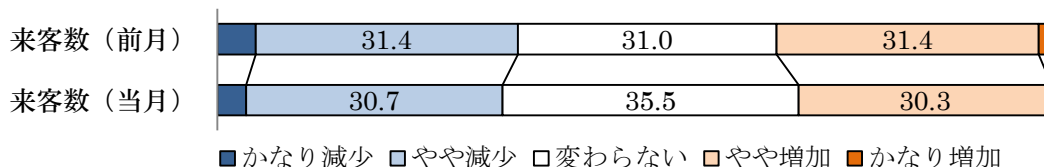
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.8	17.8	38.4	41.9	1.2	6.2
客単価（当月）	1.7	20.2	41.2	36.5	0.4	3.4



⑦来客数 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数（前月）	4.6	31.4	31.0	31.4	1.5	-1.5
来客数（当月）	3.5	30.7	35.5	30.3	0.0	-1.8

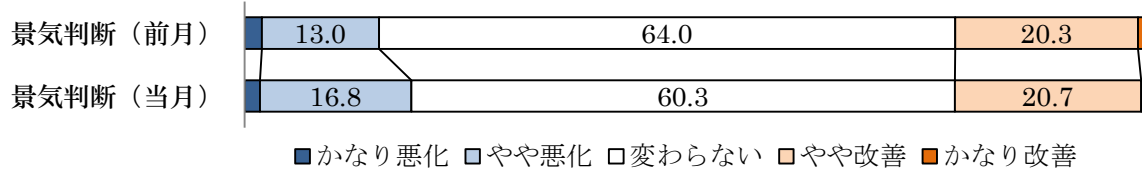


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「やや悪化」が小幅に増加（DIは小幅に下降）

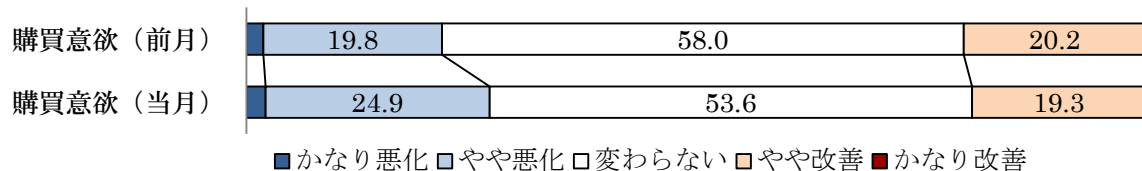
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.9	13.0	64.0	20.3	0.8	51.2
景気判断（当月）	1.7	16.8	60.3	20.7	0.4	50.3



②消費者購買意欲 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「やや悪化」が小幅に増加（DIは小幅に下降）

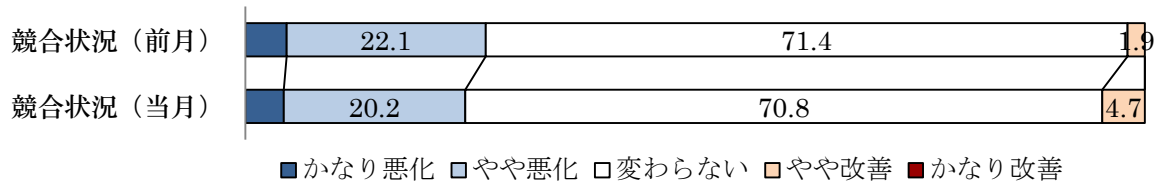
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.9	19.8	58.0	20.2	0.0	49.1
購買意欲（当月）	2.1	24.9	53.6	19.3	0.0	47.5



③周辺競合状況 DI

「やや改善」が小幅に増加（DIは小幅に上昇）

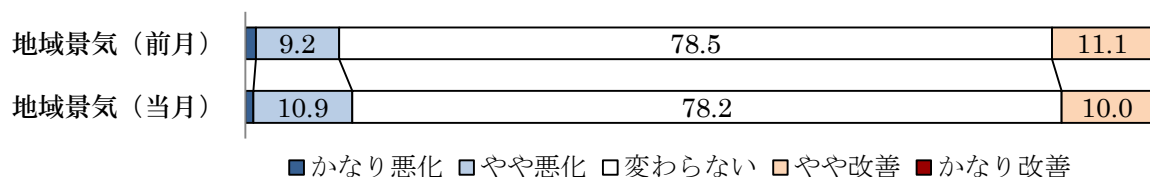
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.6	22.1	71.4	1.9	0.0	42.7
競合状況（当月）	4.3	20.2	70.8	4.7	0.0	44.0



④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DIに大きな変化なし）

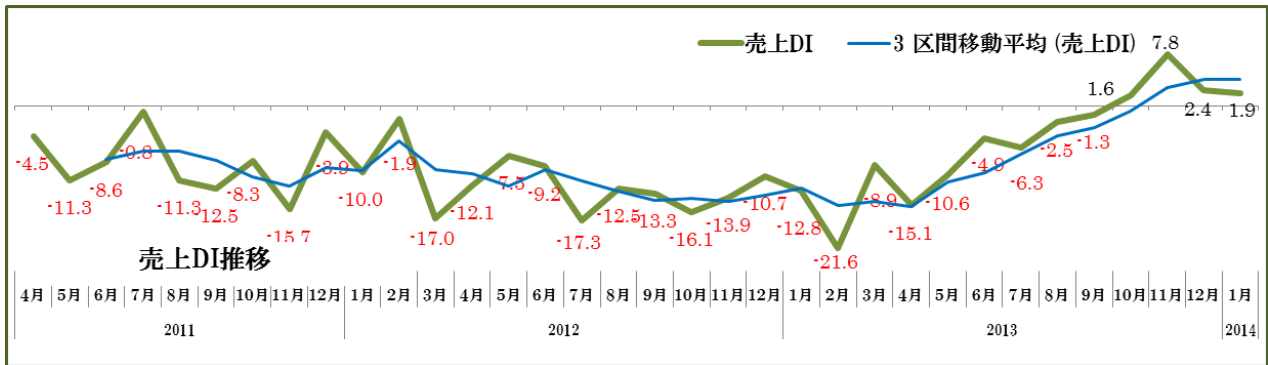
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	1.1	9.2	78.5	11.1	0.0	49.9
地域景気（当月）	0.9	10.9	78.2	10.0	0.0	49.3



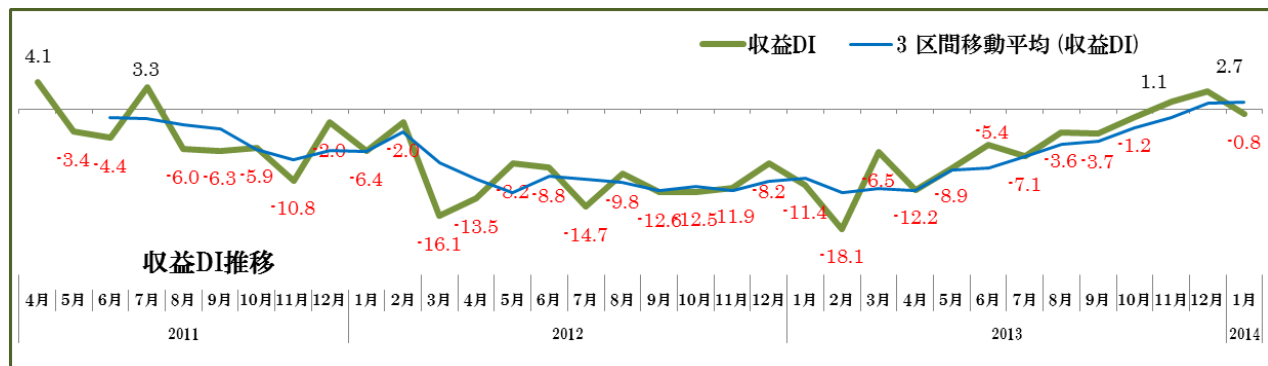
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

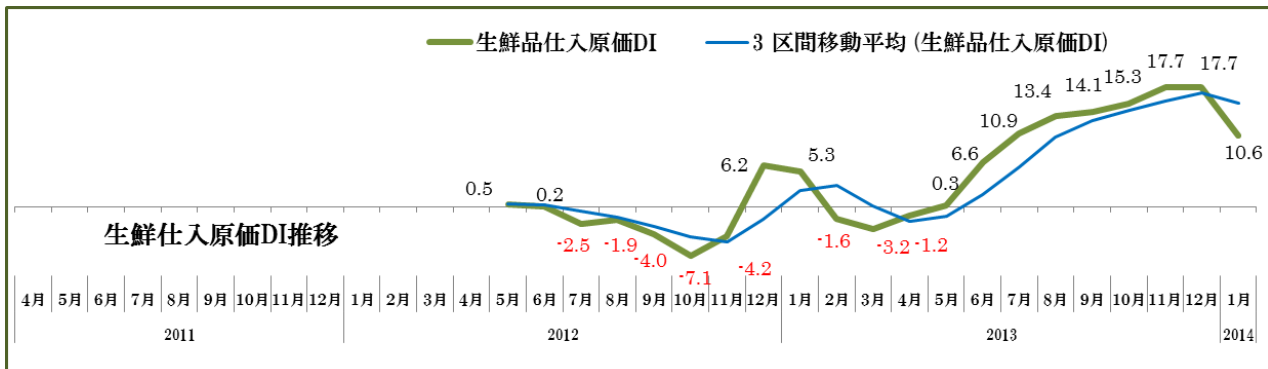
①売上高DI 上昇傾向一服も依然としてプラスを維持



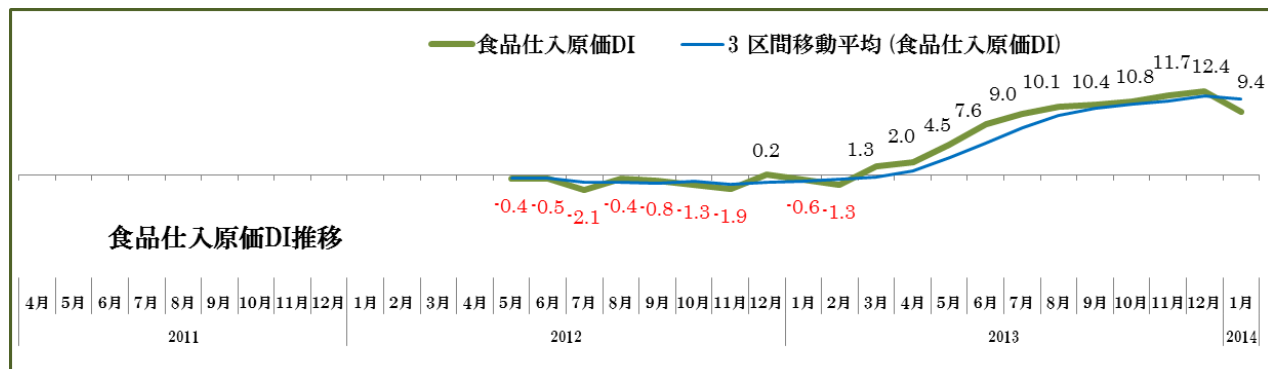
②収益DI ゆるやかな上昇傾向は一服も高水準を維持



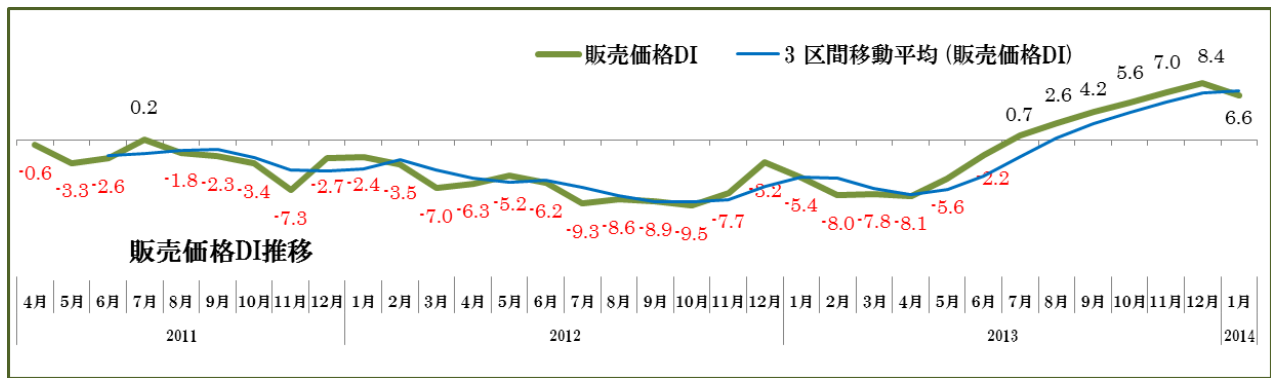
③生鮮仕入原価DI 上昇傾向は一服し直近は下降



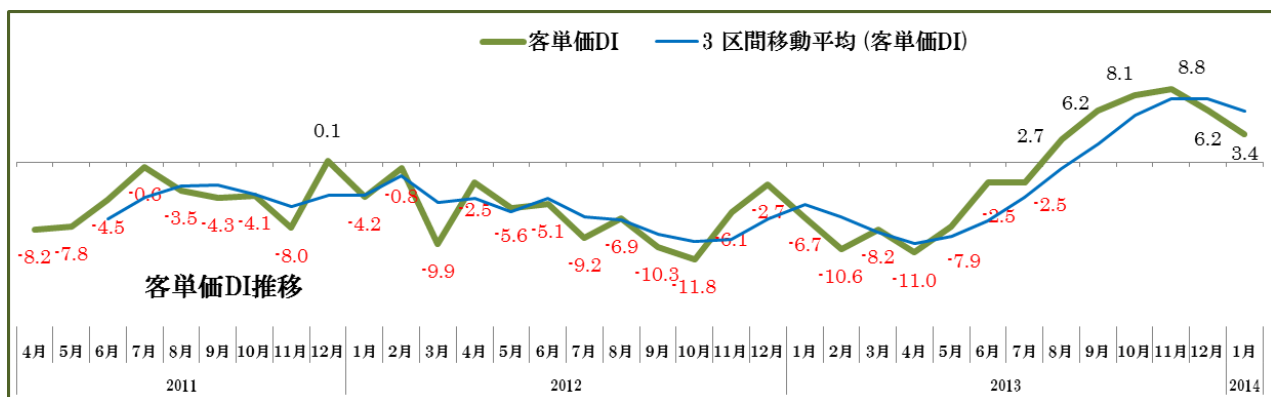
④食品仕入原価DI 横ばい傾向で高水準を維持



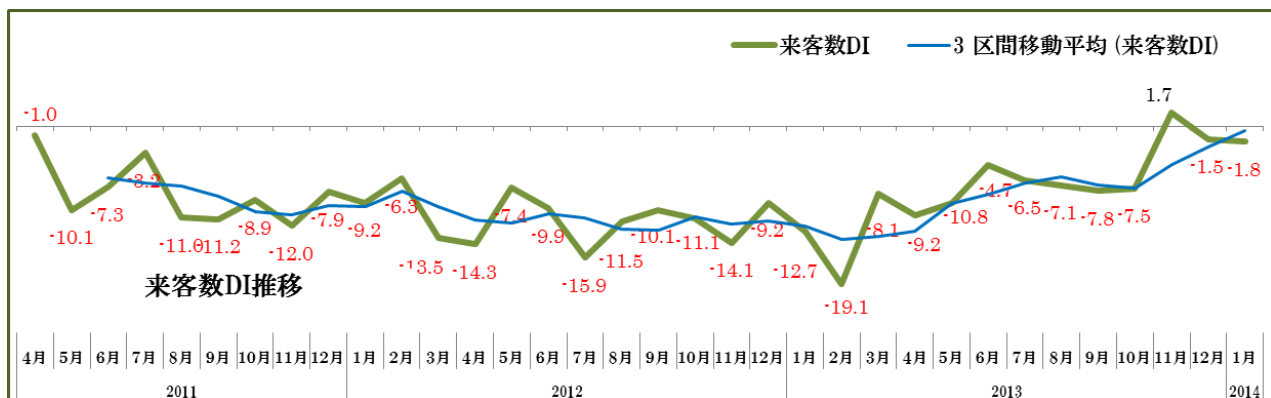
⑤販売価格 DI 4月以降緩やかな上昇傾向一服も高水準を維持



⑥客単価 DI 上昇傾向一服もプラスは維持



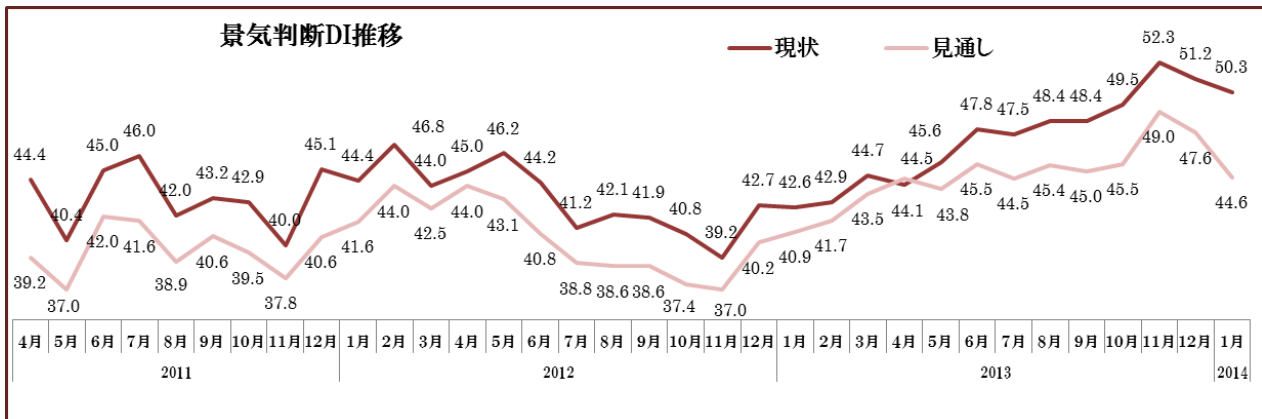
⑦来客数 DI わずかに下降も高水準を維持



2. スーパーマーケット景況感調査

①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に下降傾向、特に見通し判断の下降が大きい



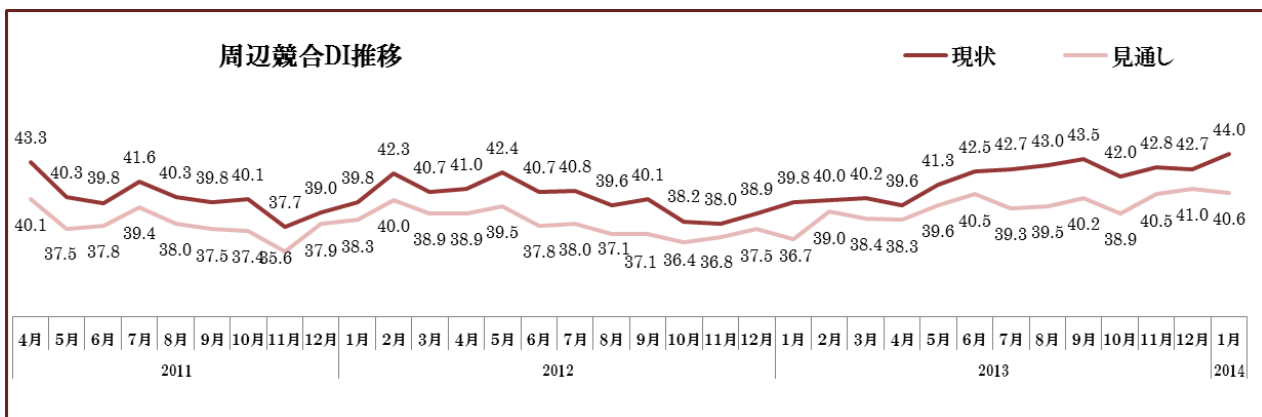
②消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に下降傾向、



③周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断はやや改善するも、見通し判断は横ばい傾向が続く



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

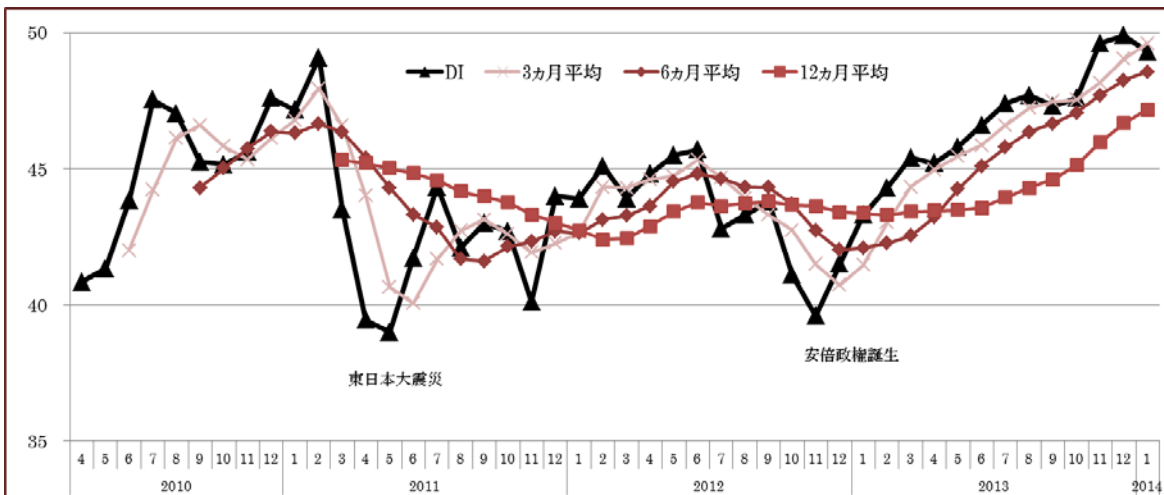
現状判断は横ばい推移、見通し判断やや下降



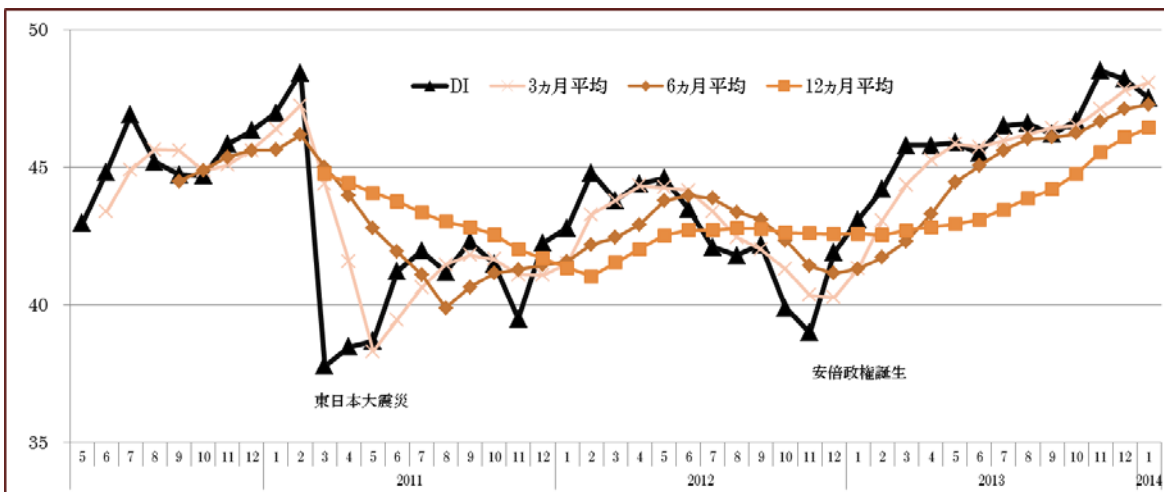
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

当月DIは現状、見通し判断は共に降しているが、各平均線は上向きの推移を維持している。2012年11月から上昇傾向が顕著にみられていたが、直近ではやや頭打ちの兆しもみられる。現状判断に比べ、見通し判断の上昇の勢いに陰りがみられる。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）

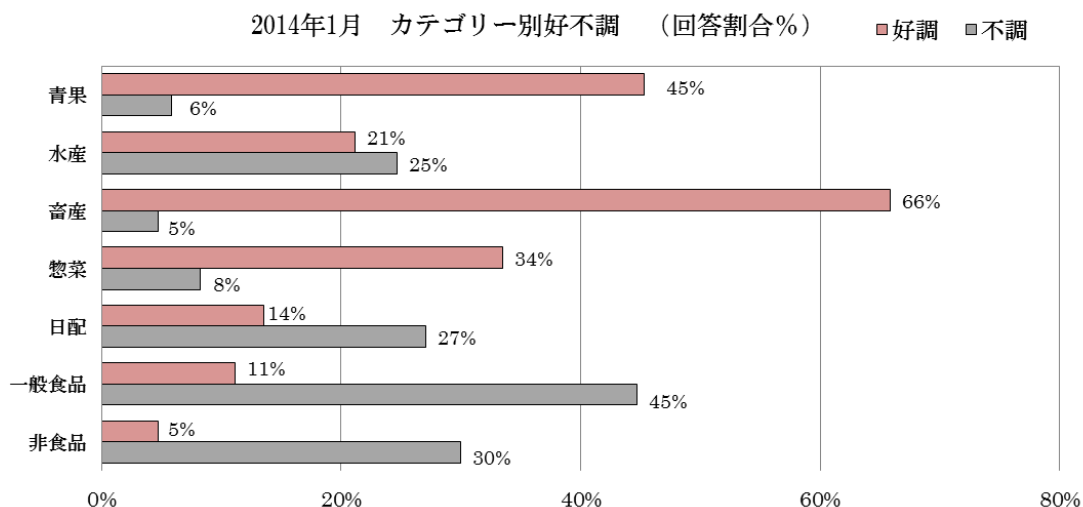


III. カテゴリー別動向

① 好調・不調カテゴリー（回答割合）

好調：①「畜産」②「青果」③「惣菜」

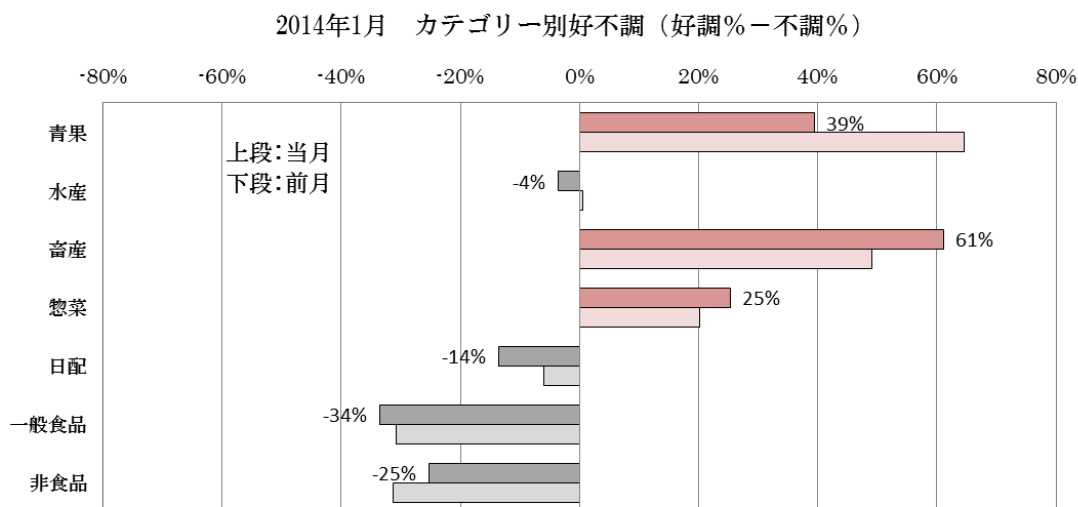
不調：①「一般食品」②「非食品」③「日配」



② 好調・不調カテゴリー（回答差）

好調>不調：①「畜産」②「青果」③「惣菜」

好調<不調：①「一般食品」「非食品」③「日配」



※集計企業数=170社

③ 主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	青果相場高、カット野菜	いちご(生育遅れ、価格高)
水産	鍋・おでん商材	鮮魚入荷減
畜産	牛肉、豚肉、鶏肉、加工肉	輸入豚肉価格高
惣菜	(寿司)(揚げ物)	
日配		冷凍食品、(パン)
一般食品	保存食品、	酒、米、菓子、価格競争、
非食品	冬物関連商品	ドラック、ディスカウント店との競合

() は少数コメント